

あなたの夢が わたしの夢  
お互いに「ありがとう」と言える仲に



お客さまの「いのち」を乗せて  
安全に・正確に・快適に



消防業務の知識を深め  
市民のニーズに応えたい



みんなの笑顔に励まされて  
彼らが育つ 私が育つ



男女共同参画へ一歩いっぽ。〔パ・ザ・パ〕

# Pas à pas

No. **13**  
2009 NOVEMBER

# ここに

働●く●こ●と●が  
生●き●る●歡●び●に●な●る

# わたしの生きる道

秋山真奈美さん



上原直高さん



大澤光範さん



小林 優さん



この仕事がしたい！ 夢をカタチにする！

「自分の夢」「自分らしい仕事」を見つけ働くことを「生きる歓び」にできたら…

素敵！だと思いませんか

## 消防業務の知識を深め、 市民のニーズに応えたい

### 秋山真奈美さん（消防士）

プロフィール：30代。昭和女子大学卒業。  
1999年4月千代田消防署配属。消防業務と  
予防業務（建物の立入検査等）3年、救急隊  
6年、本部の予防課1年。2009年4月に追  
手町消防署配属。現在、消防司令補として  
予防業務を担当。建物の立入検査、消防設  
備の検査などを行う。



非常勤嘱託（事務）として予防課に配属され、職場を見て働きたいと思い消防士の採用試験を受けました。

私が受験した頃は、まだ県内では女性の採用がほとんどありませんでした。以前から人の役に立つ仕事に就きたいと思っていたこともあり、とにかくやってみようという気持ちでした。高校、大学と女子校だったので、こういう仕事を選ぶとは思っていませんでした。

消防学校での6か月の訓練はとても厳しく、女性は5人でした。体力的にはやはり男性とは差があり、同じメニューをこなすことは大変でした。3か月くらいは、ここから逃げたらすごく楽になるだろうと思っていました。でも同期達が支えてくれました。今でもその仲間とは、悩みを相談し合ったり、励まし合ったりしています。

最後には体もだいたい慣れてきて、頑張ってきた充実感と別れの辛さで涙が止まりませんでした。

配属されてからは、上司、同僚も初めてのことで戸惑いもあったし、見えない壁が多少あったと思います。男女で区別されていると感じることもありましたが、心配していたよりもやりやすかったです。そして、最初は市民からもとても珍しがられました。現場は体

力勝負で、体調管理、体力維持など、男性と同じようにやっていくのは、なかなか大変でした。でも、出来ないことや足りないものは、チーム内で補い合い協力し合う、これがチームワークだと思います。

災害の予防とともにいつ起こるか分からない災害に備えて常に緊張しています。指令が入ると、どのように現場まで行くか、情報を聞いていろいろなことを想定しながら、どう対応をするかなどを瞬時に考えます。

火災や救急の現場では、女性隊員が必要な時があります。女性の場合、ケガの箇所によっては男性隊員に見せるのに抵抗がありますから。男女にとらわれなくて仕事をしていくことと、消防業務の知識を深めて市民のニーズに応えていくことを目標にしています。そして女性の仲間がもっともっと増えて、女性がこの職場にいることが自然になっていけばいいなと思っています。

### ★ 取材後記

就職活動中の学生として、考えさせられることが多くありました。自分も女性が長く働ける職場で働きたいと考えていましたが、どうしても「実際に長く働いている女性がいるのか」という前例にこだわって働きやすさを見ていました。秋山さんのお話を伺って、自分で動いて信頼を得ながら道を切り開いていくことの大切さを教えていただきました。

私も秋山さんのように常に明るく前向きに頑張れる芯の太い大人になりたいです。

## 子どもの笑顔に励まされて 彼らが育つ 私が育つ

### 上原直高さん（保育士）

プロフィール：1973年生まれ。東海大開発工学部卒。2005年、通信教育で保育士資格取得。翌年から公立保育園でパート、非常勤職員として勤務。2008年4月NPO法人 活き生きネットワーク\*正規保育士として勤務。

\*介護や保育等行う団体です。

高校卒業後、周りの友人が結婚し子どもが生まれ、子どもと接する機会が増えました。とても楽しくて友人たちから「保育士になればいいのに」と言われました。でも、どうすればいいかわからず、企業に営業職として就職しましたが辞め、バイトに。28歳のころ通信教育で保育士の資格がとれるとわかり、勉強を始めました。

ちょうど周りで全く違う分野への転職をする友人が何人かいたこともあり、自分も以前の夢であった保育士になろうと決心しました。

資格取得までに3年。しかし公立保育園の保育士採用は25歳まで、私立保育園でもなかなか見つからず、公立保育園の延長保育のパートの仕事を見つけて働きだしました。

通信教育では実習の経験がなかったため、先輩保育士に一から手遊びなどを教えてもらいました。その後、勧められ、試験を受けて非常勤職員に。

しかし収入の面で将来に不安を感じ、正規職員の仕事を探すことに。私立の保育園や美容院の託児スタッフなどいろいろ探しましたが、正規での職は見つからず、保育士として働くのをあきらめ、大学の時勉強していた分野の営業職として企業に再就職するも、保育士の夢が捨てきれず、以前ボランティアとしてお世話になった『活き生きネットワーク』に正規職員として就職することができました。

現在は、障害児のデイケアを主に担当しています。毎日、子どもたちを特別支援学校まで迎えに行き、一緒に過ごしています。



子どもたちが「できたよ!」と見せてくれる笑顔が最高です。そして、成長を見る喜び。たとえば、初めてひとりで歩けるようになった瞬間に立ち会えることなど保育士ならではの感動です。忙しさは気になりません。やりがいがある仕事だと思っています。

ここでは、乳幼児から高齢者、障害児、障害者、ヘルパー、ボランティア、いろんな人間がつながりを持っています。そういう場ってすばらしい。近所の人もふらっと寄ってきて下さって職員と話をしたりします。様々な人が集まってくる。こういう場所があちこちにあるといいですね。

子どもが好きになったのも、保育士をめざすことになったのもきっかけは友人たち。彼らは今も支えとなっています。両親は、「大変な仕事だと思うけど、自分の思うとおりやってみればいい」と。応援してくれた両親には感謝しています。

男性保育士はこれからもどんどん必要とされていくと思います。仕事で忙しいお父さんが多いですが、男性保育士がいることによって、子どもたちが男性とふれあう時間を増やせるというメリットもあると思います。

### ★ 取材後記

子どもたちについて話すときの楽しそうな様子が印象的でした。周りの人との縁により保育士の道に入られた上原さん。保育士という仕事から広がっていく人の輪を楽しみ、様々な人が集まる場を大切にされている上原さんのお話をうかがって、あらためて「人とのつながり」のすばらしさと力を感じました。

## お客様の「いのち」を乗せて

### 安全に 正確に 快適に

#### 小林優さん（JR東海 運転士）

プロフィール：1982年生まれ。常葉短期大学英文科卒。2002年4月JR東海入社 三島駅に配属。2004年11月静岡運輸区へ異動（車掌）。2008年3月静岡運輸区運転士見習。2008年9月静岡運輸区運転士（免許取得）。現在、熱海～豊橋間で在来線の電車を運転。



短大の時、通学で利用していたJRの駅員さんのきびきびした仕事ぶりを見て、カッコイイ！と。就職課の掲示板でJRの採用案内を見つけて、「これだ！」と思い、応募。

合格した時は、とにかくうれしくて、両親にまず報告しました。母は「ありがとう！二人で乗りにいくから。」と喜んでくれました。6年後、運転士として乗務を始めた時、両親が電車に乗りに来てくれました。

運転士は車掌と二人で、何百人ものお客様の生命をお預かりするという責任が重く一時も気の抜けない仕事です。お客様に安全に、正確に、快適にご乗車頂けることを大切に、規程を守り技術力を向上することはもとより、ホームや車内を歩行するときは、お客様に対する心配りも忘れません。一日の乗務を無事故で終えたとき達成感が込みあげてきます。この仕事に出会えて本当に良かったと思える瞬間であり、誇りを持って日々の仕事に就けることが幸せです。

鉄道の仕事は、従来、法律で女性の就業が一部制限されていました。しかし、1999年に男女雇用機会均等法が改正されたことを契機に、JR東海でも女性の採用が広まりました。そして2003年には、JR東海で初の在来線に女性運転士が誕生。現在JR東海では静岡地区だけで11名の女性運転士が活躍しています。

夜遅い電車や朝早い電車もあるため、泊まりの仕事となります。眠気を催すようなことがあっては困るので、乗務の際、薬を飲むことができません。そのため体調を常に整えるよう食事や休養のとり方に気を使っています。

実家にいる時、両親は朝早くから協力してくれ、いつも背中を押してくれました。両親がいて今があると感謝しています。昨年、同期の運転士と結婚。お互いハードな仕事ですが、夫は仕事について一番の理解者です。

男性だから、女性だからと決め付けずに、やりたい事を見つけられたら幸せです。絶対にその仕事に就きたいとの思いを持ち努力すれば夢が現実となります。また、それと同時に素直な気持ちも大切にしてほしいと思います。

#### ★ 取材後記

薄いブルーのシャツにバッジをつけ、紺色の制帽、パンツ姿の小林さん。敬礼姿の挨拶は、カッコイイ！の一言です。話をお聞きしていても、気持ちにブレがなく、その姿とたがわずカッコイイ！さわやかな風のような方でした。

人はそれぞれ、違ってこそ当たり前ですが、小林さんのような生き方にちょっと憧れてしまいそうな…そんな潔さが印象に残りました。

## あなたの夢が私の夢！

### お互いに 「ありがとう」と言える仲に

#### 大澤光範さん（介護福祉士）

プロフィール：1983年生まれ。静岡福祉情報短期大学卒業。2004年4月特別養護老人ホームカリタス勤務。2007年1月老人保健施設アリス草薙勤務。介護福祉士、レクリエーションインストラクター、介護予防運動指導員、自立体力プランナーの資格を持ち、現在ケアマネージャー（介護支援専門員）資格取得に向けて勉強中。



祖母が、曾祖父を介護しているのを身近に見て、自分も介護を必要としている人の役に立ちたいと。短大時代にボランティアで施設に行き、大正琴を弾いたら好評だったことから大正琴を本格的に始めました。

両親は、この仕事を「手に職を持つ事が大事。人と人のふれあいがある良い仕事だ」と、後押ししてくれました。母も同業者なので食事時など介護の話題で盛り上がります。

担当しているのはデイケアの介護予防。利用者さんは目標や夢を持って通っておられます。たとえば「歩けるようになりたい」「旅行に行きたい」等そのお手伝いができることが嬉しいです。ご家族からお手紙をいただくことがあり、ご本人の状態がよくなったりすると感激します。目にみえて回復された方もいてやりがいを感じます。

利用者さん、職員とも女性の方が多いので、コミュニケーションにはとても気を使っています。とにかく相手の立場になって考える事が大事だと思います。相手の気持ちを理解するために、共通の趣味として茶道も始めました。上司が男性であっても女性であっても自分の考えや意見をはっきり伝えます。ただし礼儀には気をつけます。初任の職場で礼儀に

関して厳しく教えてもらったことに感謝しています。

利用者さんの夢や目標が、私の夢や目標です。それをかなえるお手伝いができればと思います。ケアマネージャーの資格もとろうと頑張っていますが、やっぱり介護予防の現場にいたいですね。いずれにしても今の私を支えているものは、利用者さんの笑顔や利用者さんとの会話です。

この職業は、人と人のふれあいが大事です。大変なこともあります。利用者さんとの会話も勉強になるし、嬉しいこともあります。お互いに「ありがとう」と言えるのが、介護職のよさだと思います。多くの方が介護職についてくれたらと思います。

#### ★ 取材後記

大澤さんは、とても爽やかでソフトな雰囲気をもつ好青年でした。施設の上司の方の協力もあり、実際お仕事している場面も拝見させて頂きましたが、施設の利用者さん達にもとても人気があり、大澤さんがいるだけで周りが明るくなるようでした。仕事に関して自分なりの考えが明確であり、まっすぐ目標に向かって歩んでいるな～と感じました。彼のような男性介護職がもっともっと増えてくれたら、日本の未来と私の老後は明るいと思いました。



## 思いをカタチにするためのステップ ～自分らしく生きたいあなたへ

聖心女子大学准教授 大槻奈巳

これから何かやってみたい、でもそれをどうやって実現させていけばいいかわからない、と思っらっしゃる方は多いと思います。上原さんと秋山さんの事例から、どのように自分の思いを形にできたか、ポイントを考えてみたいと思います。

保育士の上原さんは、保育士になりたいけど保育士のなり方がわからなくて、最初は企業に営業職として勤めます。その後、通信教育で保育士の資格が取れることがわかり、勉強をはじめ資格をとります。ところが、資格を取ったものの今度は年齢制限などでなかなか働く場が見つかりません。そんな時、上原さんは非常勤で働きながら職探しをし、いったんは企業に就職するも、以前ボランティアをしていたNPO法人に正社員として職を得ることができました。

やりたいことを実現するにあたっての「障害」は、その仕事にどうしたらつけるかわからない、資格を取っても採用してくれる所がない、ということでした。一方で、「保育士になればいいのに」と勧めてくれた友人、違う分野に転職する友人、自分のやりたいことをやった方がいいといってくれた両親は上原さんの気持ちを後押ししてくれた「資源」です。また、通信教育で学んだ上原さんに手遊びなど実践を教えてくれた先輩、ボランティアとして活動していたNPO法人も「資源」です。特にNPO法人は正規の職を得るにあ

たって大きな「資源」となります。

上原さんは「障害」に直面しながらも、「資源」を得ながら自分のやりたいことに進んでいくことができました。そして、正規の仕事がなくても非正規で経験を積んだこと、ボランティア活動をしながらネットワーク（人とのつながり）を築いていたこと、つまり上原さんが自らの思いの実現のために自ら状況を切り開いていったことが思いを形にできた大きな要因といえましょう。

秋山さんは、女性が少ない消防士として働いています。消防学校での6ヶ月の訓練、そして職場に配属されてからも男性と体力差があることが大変でした。この体力差が「障害」といえましょう。しかし、訓練期間中、そして配属後も同期が相談相手となり支えてくれています（資源）。また、現場での体調管理、体力維持において男性と同じようにやるのが大変な中、補い合ってくれる同僚がいたこと（資源）、またそのような人間関係を作っていたことも続けていけた要因でしょう。

このように、私たちがなにかやりたいと思うとき、その実現にあたって障害となることがあります。また、実現を助けてくれる「資源」もあります。その状況を自分でよく把握し、自分の望む方向に状況を切り開くことが大切です。

「自分を知るワークシート」に書き込んで、自分の思いを整理してみましょう。



## 自分の思いを考える手順

- ① 自分の今までの道のりを振り返る
- ② これから何をしたいかを思い浮かべてみる
- ③ やりたいことを実現するにあたって障害となっていることを考える
- ④ やりたいことを実現するにあたって資源になることを考える
- ⑤ 資源を活用し、障害をなくし自分の状況を自分の望む方向に切り開いていく

## 自分を知るワークシート

【1. 自分の今までの経験を思い出してみよう】 自分の今までの道のりを振り返ります。

	楽しかったこと 好きだったこと	嫌いだったこと つらかったこと	社会的な活動はなにをしていた？ 仕事だったり、ボランティアだったり、 子どもの学校のことだったり。	家庭では何をしていた？ なにがあった？
学生時代				
学生時代～ 30歳まで				
30歳から 40歳まで				
40歳から 50歳まで				
いま				

### 【2. 今の自分を考えてみよう】

何をしたいのかを考え、障害と資源について考えます。

これからやりたいことは…
やりたいことを実現する障害になっていることは…
やりたいことを実現する資源になることは…
やりたいことの実現に必要なことは…

### 【3. 今後の自分を考えてみよう】

今日からの目標を書きます。

私は今から
1年後には
5年後には
そして（            ）年後には

自分の気持ちや思いを文字にして整理することは、なりたい自分になるためにはとても大切な作業です。是非やってみてください。

聖心女子大学文学部准教授 大槻 奈巳



## 昔からいました！ 知られざるパイオニアたち

出産の助産役を、男性が担っていたという地域があったことが書かれている本があります。『出産 産育習俗の歴史と伝承「男性産婆」』（板橋春夫・社会評論社・2,000円）。これによると、トリアゲジイサンと呼ばれる男性産婆は助産の腕前が老練で、人々の厚い信頼をうけていたそうです。

著者いわく、「男性産婆は単なる変わった話ではなく、近代助産史にきちんと位置づけられるべき項目のひとつである」。

また、『風格ある人たち』（西永芙沙子・駿

『出産 産育習俗の歴史と伝承「男性産婆」  
(板橋春夫・社会評論社・2,000円)



河台出版社・1,200円) という本では、日本初の女性報道写真家、関東地方で女性第一号となった電気工事士などのことが、紹介されています。

機会があったら、ぜひ読んでみましょう。

### News & Event

### お知らせとイベント

#### 1 第2次男女共同参画行動計画がスタート

平成21年4月から6年間を計画期間とする第2次男女共同参画行動計画がスタートしました。

第1次計画を踏襲し、新たな施策として「男女共同参画の視点を持った防災」、「ワーク・ライフ・バランス」、「非暴力、脱暴力への対策の推進」などがあります。

静岡市HPでもご覧になれます。

<http://www.city.shizuoka.jp/index.html>

#### 2 企業への出張講座を行っています

男女共同参画課では、企業に講師を派遣し、「セクシュアルハラスメント防止」など企業内における男女共同参画を推進する内容の講座を実施しています。

今年度は、5月21日に松坂屋静岡店にて(株)クオレ・シー・キューブ 原いづみ氏を講師に「セクシュアル・ハラスメント予防研修」を実施しました。派遣希望がございましたら、男女共同参画課へお問い合わせください。

#### 3 配偶者等からの暴力(DV)防止講演会を開催します

配偶者等からの暴力の被害者自身とその子どもの心を守るにはどうしたらよいのか、その援助等について女性と仕事の未来館館長で弁護士の渥美雅子氏にお話いただきます。

日時 平成21年12月9日  
14:30~16:30

会場 静岡市女性会館  
(葵区東草深町3-18)

対象 市内在住、在勤、  
在学の方

申込 往復はがきに住所、  
氏名、連絡先、託児希望  
の場合は子の氏名、月齢(1歳6か月~  
就学前)を記入し、11月20日(必着)で  
男女共同参画課へ(住所は裏表紙参照)



# 働きやすい会社 No.1を目指して

—— 大和証券株式会社 静岡支店 ——



ワーク・ライフ・バランス推進に積極的に取り組み、平成20年度にはくるみんマーク※を取得された大和証券株式会社静岡支店支店長 嘉戸隆さんにお話をうかがいました。

## わが社の ワーク・ライフ・バランス W L B

2年前から19時前退社を励行しています。メリハリをつけて仕事をし、終業後の時間を家族団らん・自己啓発・趣味などの時間として確保するのが目的です。子育て支援としては、子が小学校3年生まで残業が免除される「時間外労働の免除」、子が小学校卒業前までの間残業を一定時間内（月24時間、年150時間以内）に制限できる「時間外労働の制限」、就学前の子の病気等の看護のために有給休暇とは別に年5日取得可能な「看護休暇」、保育施設費用補助（月2万円）、出生祝金支給（第3子以降200万円）、育児支援ガイドブックの全社員への配付等があります。また、育児・介護の情報提供のためのWLB推進サイト「ダイワWLBステーション」の設置、ホームヘルパー補助金制度なども。また、結婚・配偶者の転勤による転居の場合、転居先で勤務地を提供する「勤務地変更制度」、結婚・出産等の事由により退職した社員を5年以内

※子育てサポート認定事業主マーク 愛称「くるみん」は厚生労働省の「次世代の育成支援に取り組む企業」の認定マークです。

であれば退職時と同条件で再雇用する「営業員再雇用制度」や家族と親睦を深める「ファミリー・デイ休暇」などがあります。

## よく働き、よく楽しめ！

2004年に執行役社長に就任した鈴木茂晴は、「女性が辞めない会社を目指す」と明言し、女性活躍推進のための様々な施策を打ち出しました。また、常々「社員が一番大事だ」と話しています。当社では4つのステークホルダーを大切にしています。まず、株主、次にお客様、そして社員、もう1つが社会です。社長はこの4つのうち最も大事なものは社員だと言います。一生懸命働いて株主に還元していく源となるのは、実際に付加価値を生み出す社員です。会社から大切にされていると感じた社員は必ずお客様を大切にします。その気持ちがお客様や株主、社会にも伝わっていくものだと思います。ですから最初の出発点は社員。この会社で働いて心底からよかったです感謝して働くことで初めて顧客も満足できる。文句を言っているようでは、お客様を思って働くことなどできません。社長は「Work hard, Life hard!」はたらき よく 楽しめ!とも言います。このスタイルが現在のワーク・ライフ・バランスへの流れを作ったのかもしれません。

## 率先垂範と雰囲気

私が上司として心掛けていることは2つあります。まず、率先垂範して「あと10分しかないぞ」と周囲に声かけするとともに自分も帰ります。残業する必要がある人は申請するように指導を。お客様あつての商売ですので、要望があれば事前に残業申請をさせ、確認をしたうえで残業を許可することはあります。次に雰囲気ですね。部下から休暇の申出があるとにこにこしながら承認するよう心がけています。「やることやったのか、仕事終わっ

たのか」なんて言われると休みづらいですから。当社では、WLBの制度を整え、使いやすくして、みんなが活用するという3段階を長い時間をかけて社内に浸透させています。例えば、当初19時前退社は全部署の最終退社時間を社長に報告し、社長自らがチェック。各部署の努力はもちろん、会社全体で定着させました。最初のうちは、業務がこなしきれなくて余してしまう業務が出る、実績が落ちるという意見もなかったわけではありませんが、意外に効率も業績も下がらず、2か月くらいで定着しました。むしろだったら仕事をするのがなくなり、メリハリがつかしまったね。そして、とにかく社員の意識が変わりました。会社が社員を大切にしてくれるのだから自分たちも会社のためにがんばらなければ、と。3年前に、支店のリニューアルをしたのですが、通常社員が働くフロアは後回しにされがちなのですが、机、椅子など備品まで新調。社員が働きやすい職場を用意するから、いい仕事をしてほしいというメッセージが伝わってきます。また、8月21日には、「家族の職場訪問」を実施しました。社員の配偶者や子どもなど24人の参加がありました。みなさん和気あいあいと楽しそうでした。ふだん家族が働いている姿ってなかなか見られないですから。

家族の職場訪問の様子



## 仲間との連帯感

WLB施策は採用面でも好評です。就職面接時に志望動機に多く挙げられるのがWLB

への取り組みや働きやすい会社であることなどです。日経の就職ランキングで当社グループは全国15位（昨年20位）で証券業界ではトップです。働きやすい会社ランキング（日経）でも7位（昨年14位）で証券業界では1位です。学生には「女性支店長のいる支店は全国の支店のなかで何番目に大きい支店か」と尋ねることを勧めています。そこから会社の本気度がわかるからです。どこの金融機関でも支店長のうち何人かは女性の登用をしています。単に支店長ではなくどれだけ重要な支店の支店長にしているかということです。今年4月現在、117店中8店が女性の支店長ですが、今年3月まで、全国で5番目に営業員数の多い渋谷支店の支店長は女性でした。その女性は4月から役員になりました。

女性の登用は1、2年でできるものではありません。マネージャーとして育成・登用し、実績を作った人間をやっと役員にするのだから長いスパンでの取り組みです。

また、当社には派遣・パート社員の正社員登用制度もあります。この制度により、当支店でも3年前にパートから正社員に登用が。会社には、コストが安いのでパートや派遣に切り替える方法と、一生懸命働いてくれるのであれば正社員になってロイヤリティ高く業務に励んでもらうという方法の2つあるんですね。当社は後者です。優秀な人ならどんどん正社員になってもらおうと。社員が一体になること、人を重視した会社です。退職後でさえも社内誌が送られたり、総会に参加できるなど、仲間だという連帯感を大切にしています。

大和証券株式会社 静岡支店  
事業内容 証券業を中核とする投資・金融サービスの提供  
所在地 静岡市葵区追手町1番1号  
電話番号 054(254)3151  
従業員数 男性40名、女性29名、計69名

平成21年度 第1回 ワーク・ライフ・バランス推進事業

# 私が元気になる ワーク・ライフ・バランス

日々の生活・仕事・育児  
がもっと楽しくなる。

2009 **12/5** 土

13:00~15:30

**入場無料**

※要事前申込(10/28~先着順)

■基調講演

**朝原 宣治 氏**  
(北京五輪銅メダリスト)



『私のいま・これから  
~私にとっての陸上・仕事・家庭』

開場/12:30

会場/ホテルアソシア静岡 3階 (葵区黒金町56)

主催・静岡市

申込:静岡市コールセンター / **054(200)4894**

(2か月~就学前児童の一時保育あり・10月28日から先着順に申込受付)

問合せ:静岡市男女共同参画課 / **054(221)1349**

©SANGO yuuji

■パネルディスカッション 14:00 ~ 15:30

『やりたいことはすべてやる  
~私のワーク・ライフ・バランス』

パネリスト 朝原 宣治氏  
北京五輪銅メダリスト



パネリスト  
奥田 弘美氏  
作家・医師



パネリスト  
大川 美佐子氏  
子育てサークル  
育成アドバイザー



パネリスト  
是永 理恵氏  
静岡市児童福祉専門  
分科会委員



パネリスト  
酒井 康之氏  
静岡市子ども青少年部長



コーディネーター  
日誌 一幸氏  
静岡大学教授